

KODAK Gray Scale

C

Y

M

Kodak
LICENSED PRODUCT

春水補綴

芳虎正

新摺補

西園集

ムスウノ
マ
だん

拾七編

板元殿本



13
3086
9

9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30



新
堀
補

新永春の作

十七編

上

特
へ13
3086
9



漢倭の策子と讀み暗愚の小人權とて威と國中
 恣ふともは順孝乃才子零落不時の横難み苦む
 あまは薄命とも天命とて天多るび私を衆俗
 是より怒りさるる不善に入る者歎うも叙氏
 を教戒とて三世業因や説そのうらみは説宙遠なる
 婦幼の耳入易うは所と釋史小説あり巧拙を差
 看べ身と省るの一助と形うん

戊辰新春吉且

為永春水記也

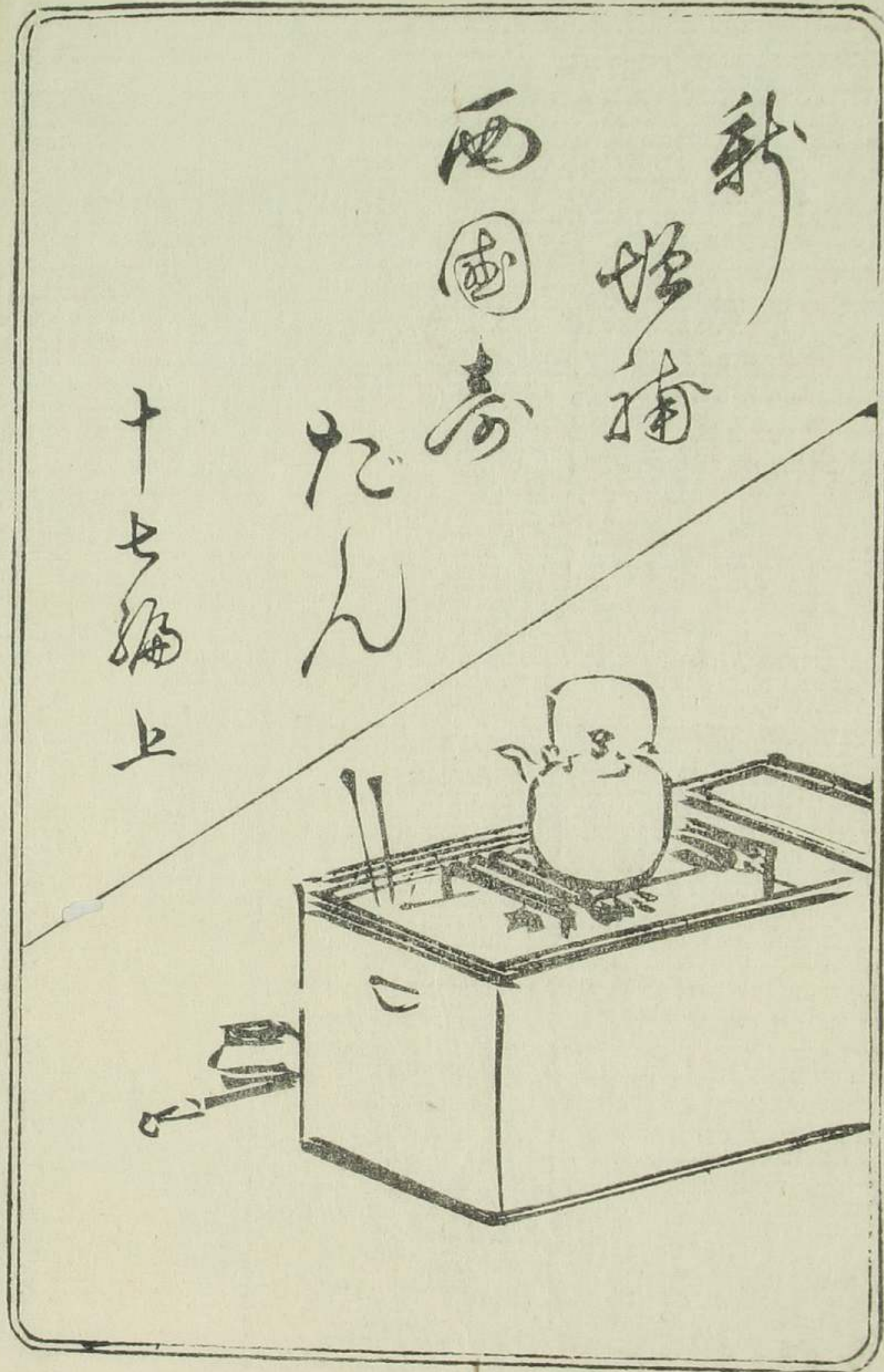
新

増補

西國志

たん

十七海上





鷲塚
爪五郎



素崎
妙意軒



素崎の妻

阿綾

十六人の女... 素崎の妻... 阿綾... (Main text block on the left page, containing several columns of vertical Japanese text and a small illustration of two women.)

田原詣 卷十七

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...



...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...



...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

二

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...



...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...



Handwritten text in the upper left corner of the right page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text in the upper right corner of the right page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text in the lower right corner of the right page, written vertically in Japanese characters.



Handwritten text in the upper left corner of the left page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text in the lower right corner of the left page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text in the top right corner of the right page, likely a preface or commentary.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, possibly a dialogue or description.

Handwritten text in the top left corner of the left page.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page.



田園集 卷之十 十一



西園抄
 卷十七
 五
 西園抄
 卷十七
 五
 西園抄
 卷十七
 五

西園抄
 卷十七
 五
 西園抄
 卷十七
 五
 西園抄
 卷十七
 五

西園抄
 卷十七
 五
 西園抄
 卷十七
 五
 西園抄
 卷十七
 五

芳虎画 春水作



此草紙 趣向 花の羅 木村の設けもいさうも唐奥ま成混る事と
 鎌倉の時 遊遊の遊 賊俠客のいさうも唐奥ま成混る事と
 傳へる 笠松末の所 松ヶ所 業且日本左衛門の四海横行の趣き取
 語樂の目先を替へ 續出版は候編 日本歌右三門の五島清十郎と
 一頃の切立強盜 楠の不禁 輔の變身 金くらまの詰き 花とや
 著のいと昔に 三編の世話 湯の鬼神の於松と弁天小僧の鈴鹿越の
 上會 牛若者 一郎の秘 命婦のさきと柿の木と止及び言阿鬼谷
 齋の住家の段々 終るに 三編 今舞慶と牛若小僧と五奈天神と境
 内や大直映の立らる 最終のやま 脚色よるん

東海義賊 關東義俠

薄絲娘白浪

三編

假名垣魯文作 朝霞樓芳幾画

此草紙 趣向 花の羅 木村の設けもいさうも唐奥ま成混る事と
 鎌倉の時 遊遊の遊 賊俠客のいさうも唐奥ま成混る事と
 傳へる 笠松末の所 松ヶ所 業且日本左衛門の四海横行の趣き取
 語樂の目先を替へ 續出版は候編 日本歌右三門の五島清十郎と
 一頃の切立強盜 楠の不禁 輔の變身 金くらまの詰き 花とや
 著のいと昔に 三編の世話 湯の鬼神の於松と弁天小僧の鈴鹿越の
 上會 牛若者 一郎の秘 命婦のさきと柿の木と止及び言阿鬼谷
 齋の住家の段々 終るに 三編 今舞慶と牛若小僧と五奈天神と境
 内や大直映の立らる 最終のやま 脚色よるん

地本繪草紙問屋 西國米澤町加賀屋吉兵衛版

夕席画

あき だん



十七

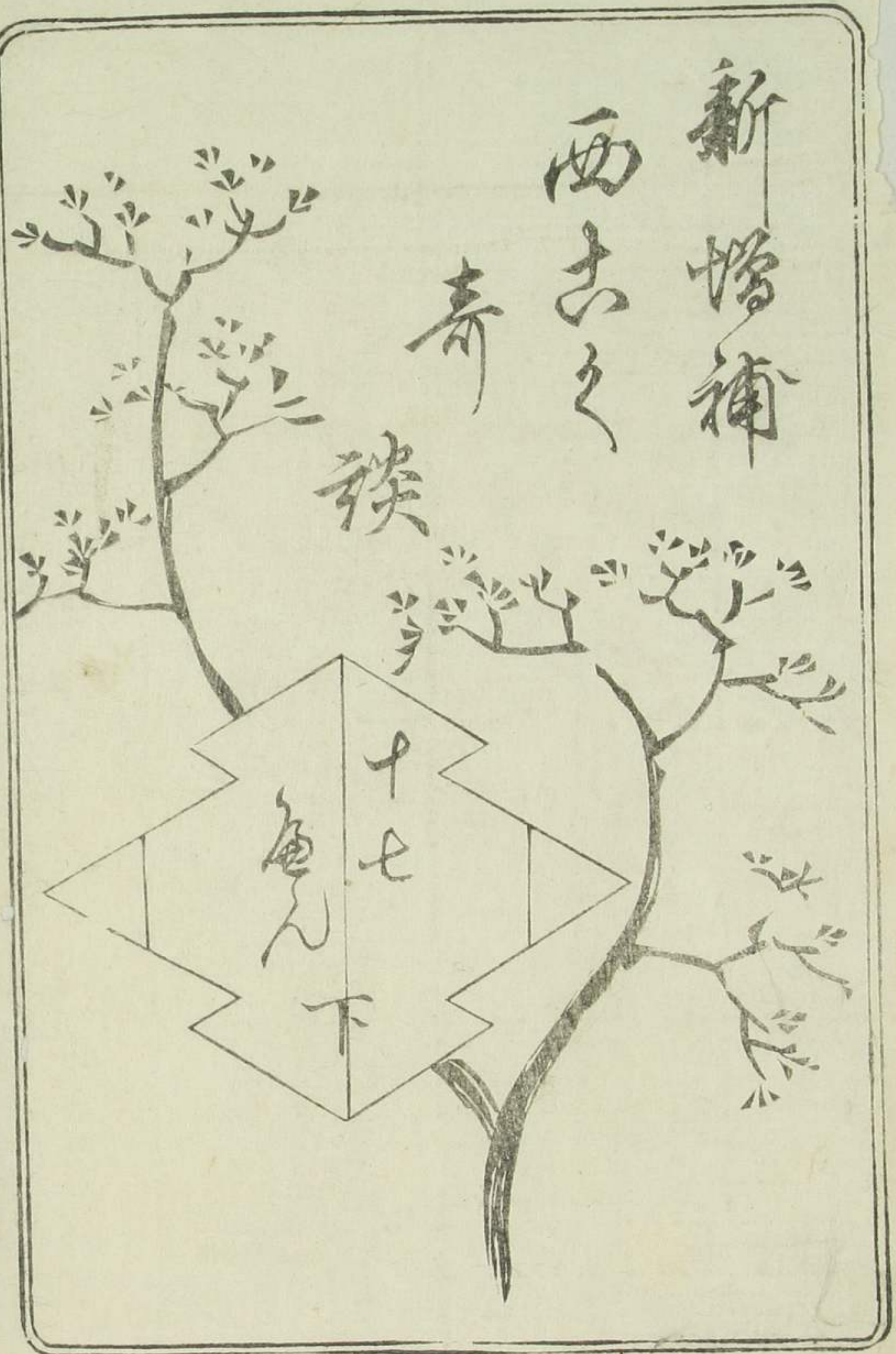
下

後半春様



Vertical text on the right edge of the book, likely a title or publisher's mark.

Small vertical text on the right edge of the book.



本草綱目卷之五十二

七

Vertical text in the top right corner of the right page, likely a preface or introductory text.



Vertical text in the bottom right corner of the right page, continuing the narrative.

Vertical text in the top left corner of the left page, likely a preface or introductory text.



Vertical text in the bottom left corner of the left page, continuing the narrative.

右の女は...
左の男は...
...



...

...



...

西国奇談十一
 一
 西国奇談十一
 一



西国奇談十一
 一

西国奇談十一
 一



西国奇談十一
 一

西国奇談十一
 一

西国奇談十一
 一

三ノ巻 上段
 此ノ巻ノ初メニ
 武田信玄ノ事ヲ
 叙スル事ナリ
 其ノ時ニテハ
 武田氏ノ勢
 日ニ盛リテ
 關東ノ地ヲ
 平定スル事
 成リテ
 武田氏ノ名
 日ニ高ク
 振リ出スル
 事ナリ
 然レドモ
 武田氏ノ
 運命ハ
 此ノ時ニ
 決メテ
 衰エテ
 去ル事
 ナリ
 此ノ巻ノ
 中ニテハ
 武田氏ノ
 運命ノ
 變遷ヲ
 叙スル
 事ナリ
 其ノ事
 實ニテハ
 武田氏ノ
 運命ハ
 此ノ時
 ニテハ
 衰エテ
 去ル
 事ナリ
 然レドモ
 武田氏
 ノ運命
 ハ此ノ
 時ニテ
 ハ衰エ
 テ去ル
 事ナリ
 此ノ巻
 ノ中ニ
 テハ武
 田氏ノ
 運命ノ
 變遷ヲ
 叙スル
 事ナリ
 其ノ事
 實ニテ
 ハ武田
 氏ノ運
 命ハ此
 ノ時ニ
 テハ衰
 エテ去
 ル事ナ
 リ



此ノ巻ノ中ニ
 テハ武田氏
 ノ運命ノ
 變遷ヲ
 叙スル
 事ナリ
 其ノ事
 實ニテ
 ハ武田
 氏ノ運
 命ハ此
 ノ時ニ
 テハ衰
 エテ去
 ル事ナ
 リ
 然レドモ
 武田氏
 ノ運命
 ハ此ノ
 時ニテ
 ハ衰エ
 テ去ル
 事ナリ
 此ノ巻
 ノ中ニ
 テハ武
 田氏ノ
 運命ノ
 變遷ヲ
 叙スル
 事ナリ
 其ノ事
 實ニテ
 ハ武田
 氏ノ運
 命ハ此
 ノ時ニ
 テハ衰
 エテ去
 ル事ナ
 リ



此ノ巻ノ中ニ
 テハ武田氏
 ノ運命ノ
 變遷ヲ
 叙スル
 事ナリ
 其ノ事
 實ニテ
 ハ武田
 氏ノ運
 命ハ此
 ノ時ニ
 テハ衰
 エテ去
 ル事ナ
 リ
 然レドモ
 武田氏
 ノ運命
 ハ此ノ
 時ニテ
 ハ衰エ
 テ去ル
 事ナリ
 此ノ巻
 ノ中ニ
 テハ武
 田氏ノ
 運命ノ
 變遷ヲ
 叙スル
 事ナリ
 其ノ事
 實ニテ
 ハ武田
 氏ノ運
 命ハ此
 ノ時ニ
 テハ衰
 エテ去
 ル事ナ
 リ

武田氏ノ運命ノ變遷ヲ叙スル事ナリ

武田氏ノ運命ノ變遷ヲ叙スル事ナリ

Vertical column of handwritten Japanese text on the right side of the top page.



Horizontal column of handwritten Japanese text at the bottom of the top page.

Vertical column of handwritten Japanese text on the right side of the bottom page.



Horizontal column of handwritten Japanese text at the bottom of the bottom page.

Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, located above the illustration on the right page.



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, located above the illustration on the left page.

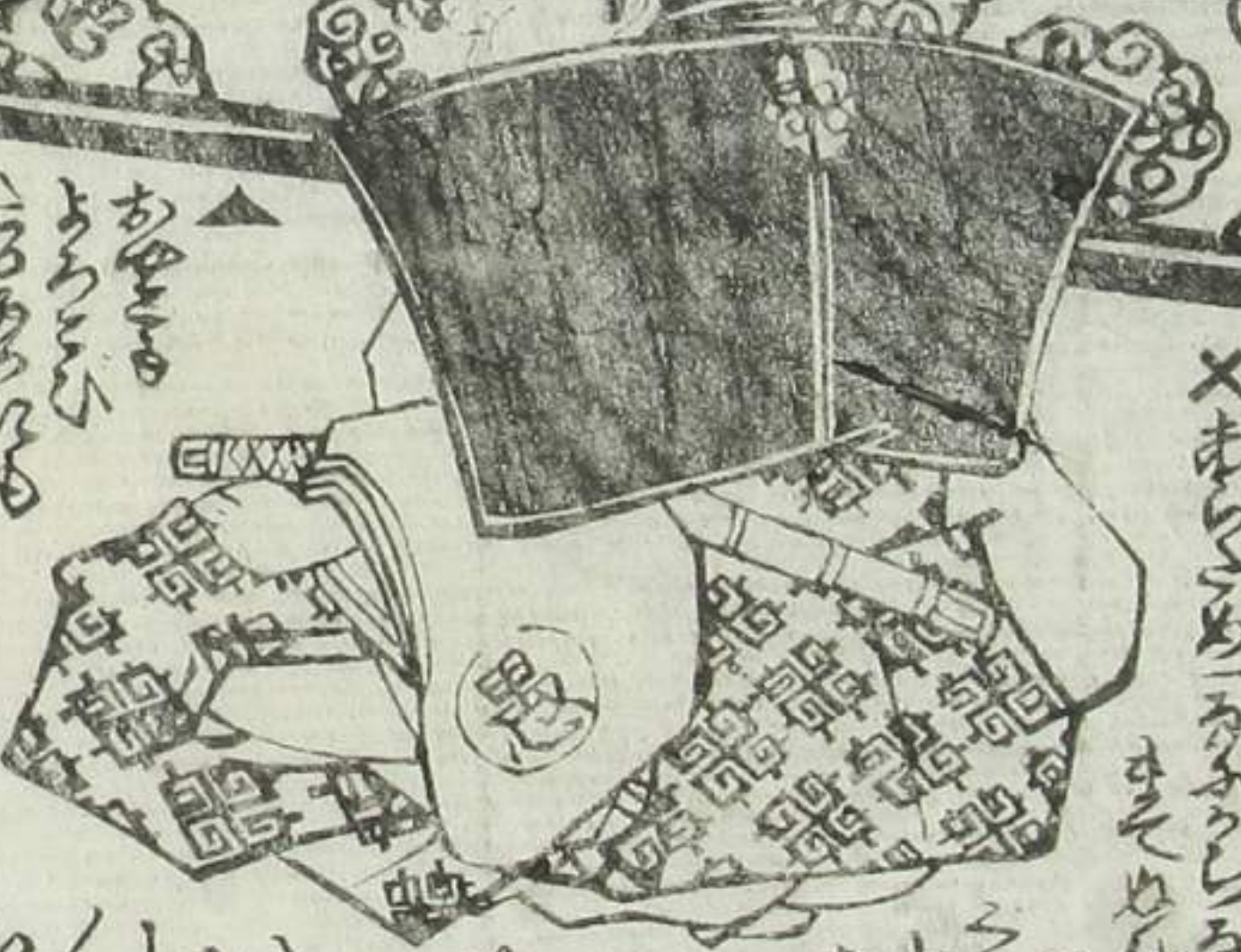


Small vertical text on the left margin of the left page.

此の世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...



世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...



世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...



世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...
世に女は...



西国詩話十七
西国詩話十七
西国詩話十七

朝鮮牛肉丸

大包全二朱
中包全一朱
小包百

朝鮮牛肉丸
朝一ひおと補ひド
せいとまをゆる
るをひひひひひ
久ふおひひひひ
對州下合きせん
ア久 赤壽氏製



春水作國貞画

昔噺譽達引

類川如翠作
惠齋芳幾画

緑林娘白浪

假名垣魯言文作
朝霞樓芳幾画

新編多氣競

全全
作

浮瓢草

柳橋歌妓寄合作
假名垣主人披露

地本草紙問屋

西國米澤町

加賀屋吉兵衛梓



新增補西國奇談
編八十

上



新增補

西國奇談

第十八編上

為永春水作

孟齋芳虎画

庚午春

青盛文庫



僕が編める草紙物語は多くハ倉卒の間ハ綴る者ハ
産漏る糸あがぬ書工の筆ハ誤らぬ刀工の鑿ハ過る色を
先板下江と校訂あり又摺本めく再校せ然るを本傳
十六編十七編の二帙のどハ頻りに書房の發兌を急ぎて
校合を經ることあり製本做せし更ハ一あまハ
誤字あり落字ありて看官余こそ読惡うめ茲ハ青盛堂の
主人あり舊板残らば贖ひ得しと云余ハ続編を請ふに
例の二帙ハ周改めく俱ハ善本ハあると云婦幼等後
摺出せるを求めて疑ひを解かんとす

明治第三庚午稔孟春

為永春水誌る



四准次妻
阿凡

二桐
四准次



養
水

螺ヶ嶽
鳴右工門

内國知事下

此の世に... 人の心... 世の理... 人の情... 世の法... 人の徳... 世の道... 人の行... 世の業... 人の名... 世の位... 人の財... 世の色... 人の色... 世の声... 人の声... 世の味... 人の味... 世の触... 人の触... 世の思... 人の思... 世の慮... 人の慮... 世の智... 人の智... 世の慧... 人の慧... 世の德... 人の德... 世の功... 人の功... 世の業... 人の業... 世の名... 人の名... 世の位... 人の位... 世の財... 人の財... 世の色... 人の色... 世の声... 人の声... 世の味... 人の味... 世の触... 人の触... 世の思... 人の思... 世の慮... 人の慮... 世の智... 人の智... 世の慧... 人の慧... 世の德... 人の德... 世の功... 人の功...



おろぐま

この世に... 人の心... 世の理... 人の情... 世の法... 人の徳... 世の道... 人の行... 世の業... 人の名... 世の位... 人の財... 世の色... 人の色... 世の声... 人の声... 世の味... 人の味... 世の触... 人の触... 世の思... 人の思... 世の慮... 人の慮... 世の智... 人の智... 世の慧... 人の慧... 世の德... 人の德... 世の功... 人の功...



おろぐま

これよりさあぐんをせと
りうけら多くさうてあいのうらひ
くわいせうあわやせつひさし
ひんかひのうひさしひさし
のむさしんぐんゆきまことありひ
きびくきさくあひしふうあ
さうあめあひんちのうらひ
ごらんのとあひちのうらひ

あひちのうらひ
のうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ



あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ

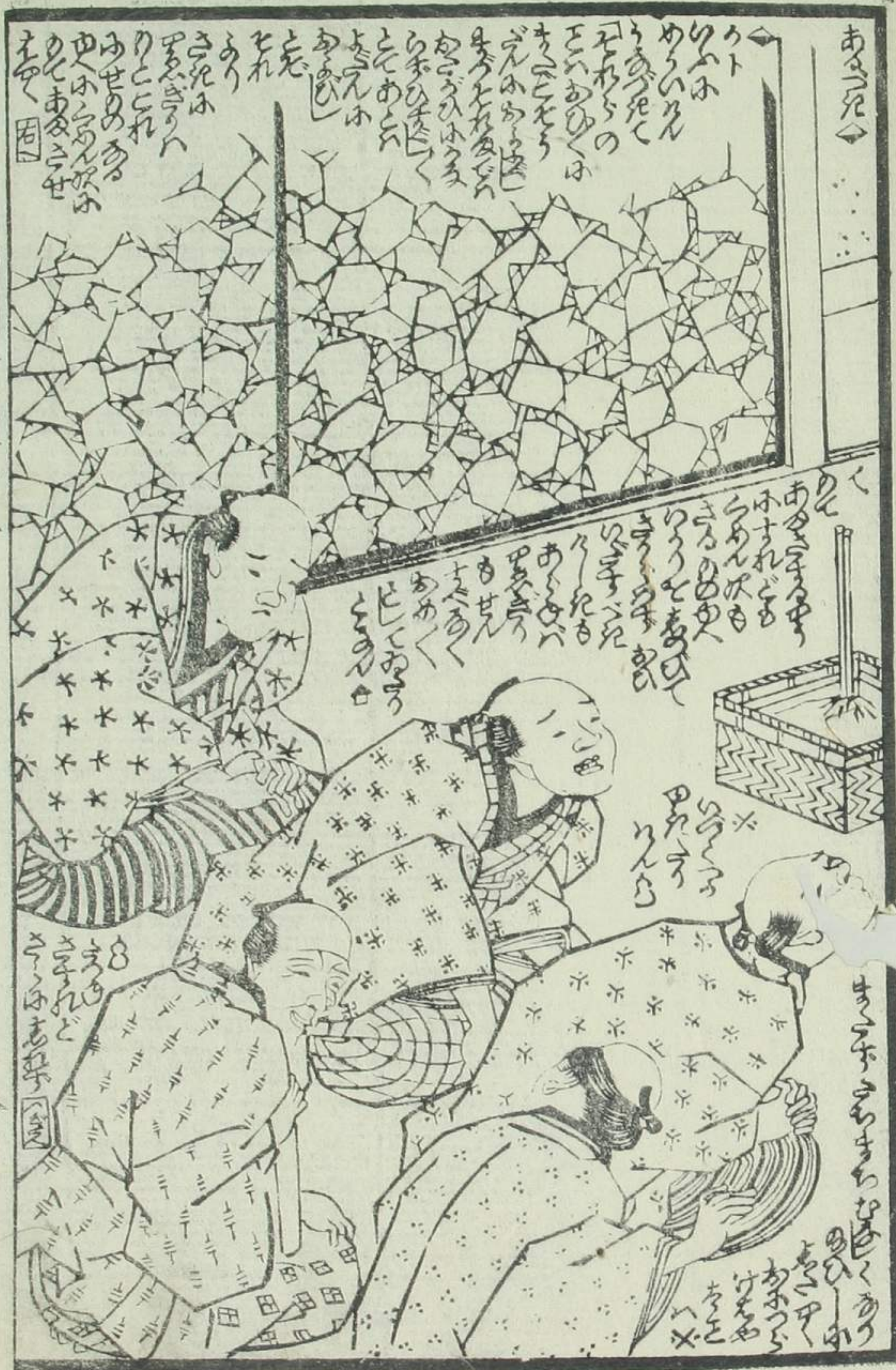
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ

あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ

あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ



あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ
あひちのうらひ



二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

春水作
芳虎画

春水作の芳虎画、
 西國奇譚十八の巻に
 あり。此の巻は、
 西國の奇譚十八を
 述べて、
 春水作の芳虎画の
 事、
 西國奇譚十八の巻に
 あり。此の巻は、
 西國の奇譚十八を
 述べて、
 春水作の芳虎画の
 事、



春水作の芳虎画、
 西國奇譚十八の巻に
 あり。此の巻は、
 西國の奇譚十八を
 述べて、
 春水作の芳虎画の
 事、
 西國奇譚十八の巻に
 あり。此の巻は、
 西國の奇譚十八を
 述べて、
 春水作の芳虎画の
 事、

東海... 薄絲娘白浪... 朝霞樓芳幾画

此の巻は、
 西國の奇譚十八を
 述べて、
 春水作の芳虎画の
 事、
 西國奇譚十八の巻に
 あり。此の巻は、
 西國の奇譚十八を
 述べて、
 春水作の芳虎画の
 事、

加賀屋吉兵衛

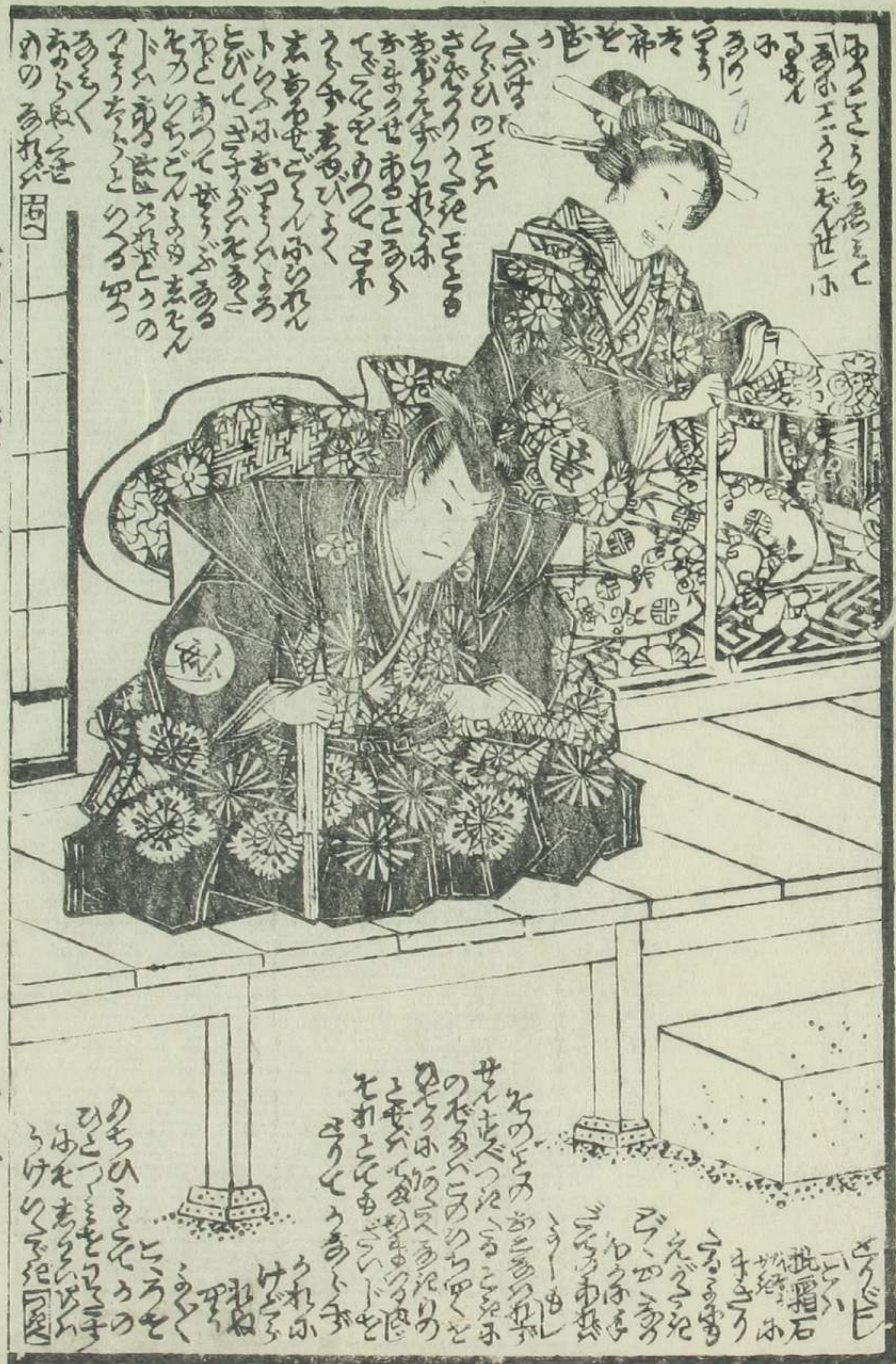
芳虎画

春水作

下







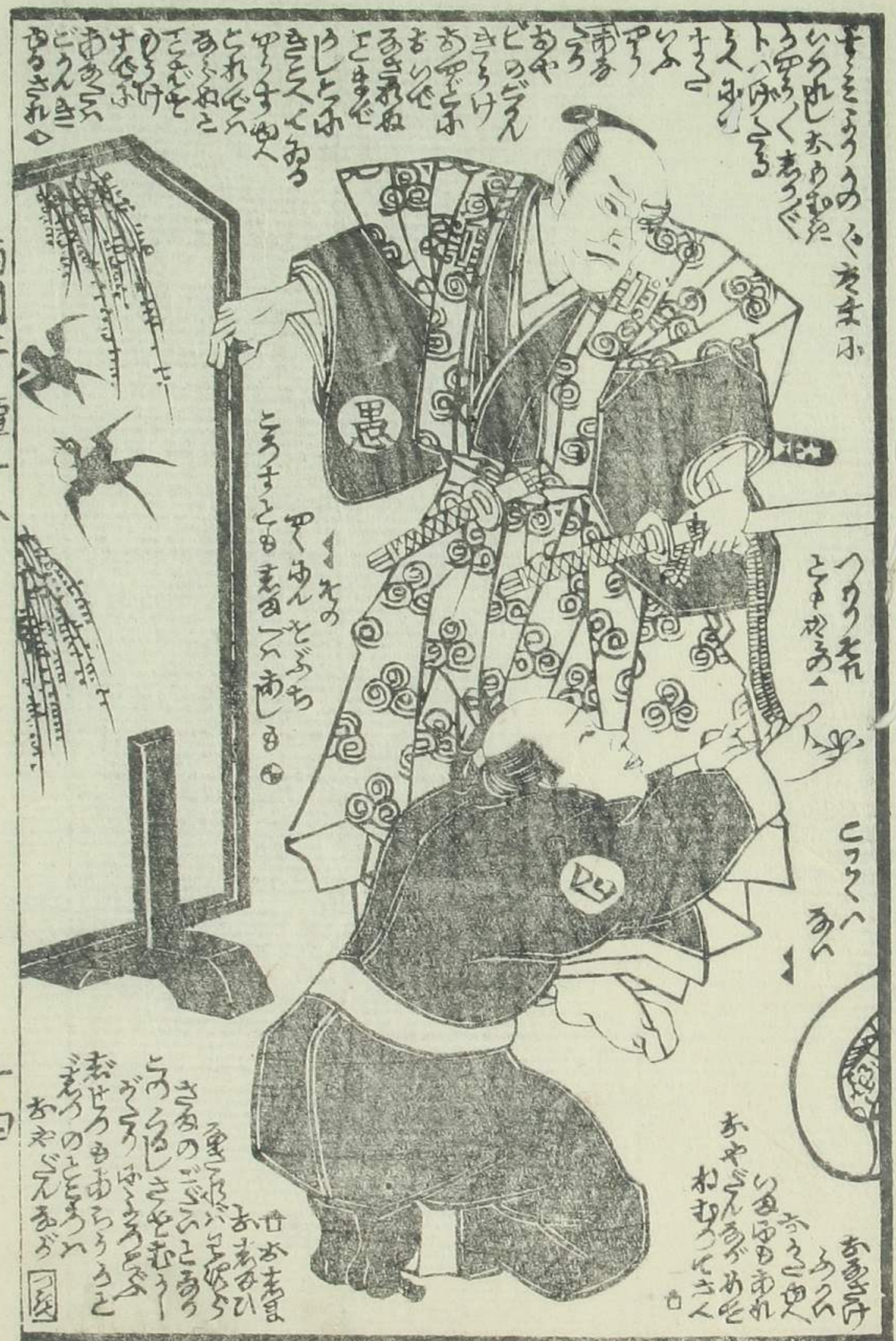
五郎左衛門 十一

三



大岡政談 十一

二



あつらひの
 りょうふ
 まつり
 おいそ
 ざむ
 あひくち
 らるれが
 りあらふ
 あやう
 うさ
 おぎ
 こ
 せん
 と
 り
 ま
 む
 の
 の
 ち
 う
 の
 ら
 あ
 う
 の
 ら
 の
 ら
 の



あつらひの
 りょうふ
 まつり
 おいそ
 ざむ
 あひくち
 らるれが
 りあらふ
 あやう
 うさ
 おぎ
 こ
 せん
 と
 り
 ま
 む
 の
 の
 ち
 う
 の
 ら
 あ
 う
 の
 ら
 の
 ら
 の

あつらひの
 りょうふ
 まつり
 おいそ
 ざむ
 あひくち
 らるれが
 りあらふ
 あやう
 うさ
 おぎ
 こ
 せん
 と
 り
 ま
 む
 の
 の
 ち
 う
 の
 ら
 あ
 う
 の
 ら
 の
 ら
 の



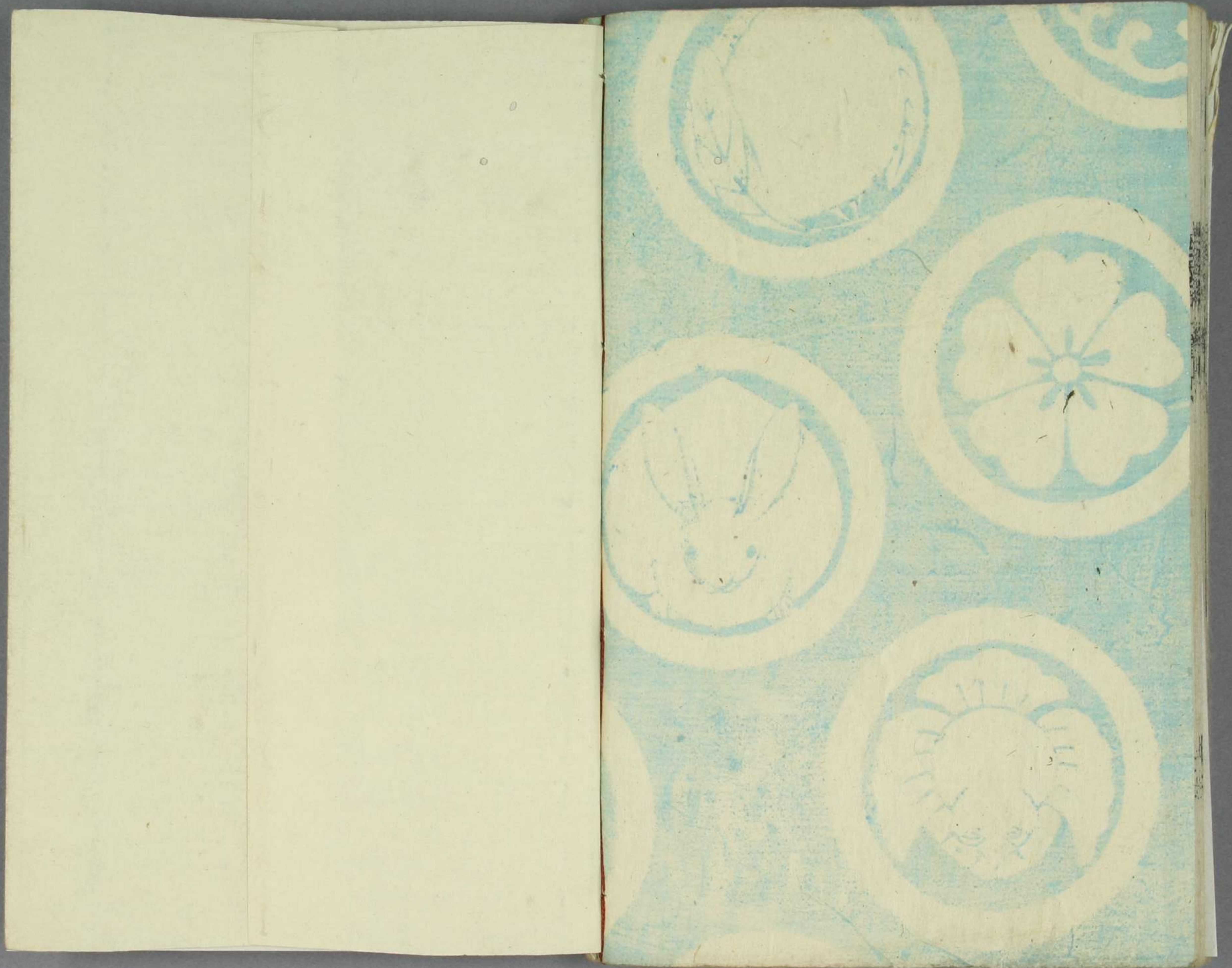
あつらひの
 りょうふ
 まつり
 おいそ
 ざむ
 あひくち
 らるれが
 りあらふ
 あやう
 うさ
 おぎ
 こ
 せん
 と
 り
 ま
 む
 の
 の
 ち
 う
 の
 ら
 あ
 う
 の
 ら
 の
 ら
 の



ふたつとわ
 ろのつら
 めいそ
 こころ
 あつた
 ありき
 こころ
 ありき
 こころ



あつた
 こころ
 あつた
 こころ
 あつた
 こころ
 あつた
 こころ
 あつた
 こころ
 あつた
 こころ
 あつた
 こころ
 あつた
 こころ
 あつた
 こころ



十八編

新増補

為永香水總

孟祥安

虎圖

加板



西のきこ



大